

西部教育局ホームページ

検索

http://www.pref.tottori.lg.jp/seibukyoiku/

とっとりの授業改革【10の視点】

鳥取県の子どもたちが、さらに伸びていくための
とっとりの 授業改革 【10の視点】

<p>知的な好奇心の喚起</p> <p>① 魅力的な課題・教材の提示 調べてみたい、みんなと考えてみたい、問題や教材を提示し、学習への見通しを持たせる</p> <p>② 体験的な学習の充実 これまで学んだことや日常生活とのつながりを意識させ、実物や作業、視覚覚教材を使用するなど体験的な学習を取り入れる</p>	<p>活用する力を育てる 言語活動と学習評価</p> <p>③ 資料の活用 問題解決に必要な資料を使って調べたり、考えたりする学習を設定する</p> <p>④ 思考の整理 調べたことやわかかったこと、問題の解き方や考え方をノートに書かせる</p> <p>⑤ 説明・発表の機会の充実 考え方や理由を筋道立てて説明する学習活動を設定する</p> <p>⑥ 学び合う活動の充実 ねらいをはっきりさせ、新しい考えを、みんなで生み出す活動を設定する</p>	<p>次につながる ふり返し</p> <p>⑦ 学習評価の推進 一人一人の学習状況を把握し、個に応じた手立てや支援を行う</p> <p>⑧ 学習をふり返る活動の設定 「ふり返し」の時間を設定し、達成感・成就感を味わったり、次の学習の課題やポイントがつかめるよう工夫する</p> <p>⑨ 家庭学習と連動した学びの定着 学校で学んだことが家庭での復習や予習、自主的な学習につながるような支援に努める</p>
<p>⑩ 落ち着いたのびのびと学べる環境づくり(学びの集団・人間関係づくり)</p>		

旬な情報を発信しています。
是非アクセスしてみてください！



テーマでさがす | 県の紹介 | お知らせ | ネットで手続き | 県政情報 | 組織と役割

現在位置: ホーム - 県の組織と仕事 - 教育委員会 - 西部教育局

- 西部教育局
- トップページ
- 西部教育局のミッション
- 組織・事務分担
- 基本給・アクセス
- 西部教育局の取組み
- 西部のお役立ち情報
- 「暮らしと学ぶ西部の未来」
- 学校給食・運営・校内授業研究
- 生涯学習の推進
- その他
- 西部教育局長
- 西部教育局副教育長
- 西部教育局教育委員会及び各校一覧

西部教育局

新着情報

- 西部教育局からのお役立ち情報【2月号】
- 西部教育局からのお役立ち情報【1月号】
- 西部教育局からのお役立ち情報【12月号】
- 西部教育局からのお役立ち情報【11月号】
- 西部教育局からのお役立ち情報【10月号】
- 西部教育局からのお役立ち情報【9月号】
- 西部教育局からのお役立ち情報【7月号】

西部教育局

西部教育局は、米子市・境港市・西伯郡・日野郡の各市町村教育委員会と連携しながら、学校教育の充実及び生涯学習の推進に取り組みます。

とっとりの授業改革10の視点

鳥取県の子どもたちが、さらに伸びていくための
とっとりの 授業改革 【10の視点】



リーフレット



情熱支援学校における授業づくりリーフレット【前半】
情熱支援学校における授業づくりリーフレット【後半】

校内授業研究充実のためのポイント

校内授業研究充実のためのポイント

西伯地区の子どもたちの
よりよい発展のために

もくじ

- 1 西伯地区小・中・特別支援学校の校内授業研究の現状はどうなっていますか
- 2 今、各校校内授業研究の充実が求められているのですか
- 3 校内授業研究は、どのようにスタートしますか
- 4 校内授業研究にPDCAサイクルをどう生かしますか
- 5 校内授業研究において、教職員一人一人にどのようなことが求められますか
- 6, 7 授業研究会を共に学ぶ場とするためには、どのようにしたらよいですか
- 8 授業研究会の学びを日々の授業に生かすには、どのようにしたらよいですか
- 9 校内授業研究充実のためのポイント

【本校内での紹介】

実施した学校: 西部教育局
実施日時: 8月9日 (付) / 8月10日 (金) / 8月11日 (土) / 8月12日 (日)

名前: 中野 聖之
所属: 西部教育局総務課
実施場所: 西部教育局総務課

校内授業研究は、どのようにスタートしますか

自然の現状を把握することが、授業研究の第一歩です。データをもとに自然の授業の現状を把握し、課題を明らかにする。「自然の授業」の現状把握を行うことにより、現状の課題や本気で改善したいという思いを全職員間で共有することが、授業研究に意義を感じ、積極的な取り組みを促すことにつながります。

研究課題を見いだすための2つの作業

- ① 子どもの実態に関する率直な意見交換
校内授業研究は、子どもの実態から出発するということが大切です。とりわけ学習面についての子ども自身の意見や具体的な悩みから分析していくことが大切です。また、なぜそのような課題が生じるのかといった背景の部分や、課題をどのように克服したいかといった点についても全職員間で話し合い、子どもたちの実態を踏まえて、研究課題を見いだすことが大切です。
- ② 日頃実施している授業の現状把握
子どもの実態の把握と、日頃実施している授業の現状を把握することは、授業改善の前提条件です。現状を把握することは、課題を明確にするための第一歩です。まずは、各自が丁寧に授業記録をとり、子どもへの授業アンケートを行ったりすることで、課題を明らかにします。そのほか職員間で話し合うことで課題を洗い出し、みんなで力を合わせて、ともに考え合って取り組むことに集まる研究課題づくりへとつなげていきます。

校内授業研究のスタート(例)

- 児童生徒の実態把握** / **日頃実施している授業の現状把握**
データの分析を通じて課題を明確にします。現状に隠れた問題や、子どもが気づいていないような課題や授業研究に反映する課題を洗い出し、改善の方向性を考えていきます。
- 課題の焦点化**
全学年・全学年の授業の現状を把握し、基本の授業の、授業アンケートから課題を洗い出すことで、課題の焦点を絞り込みます。このとき「全学年の授業・単元・単元」が共通の課題や授業研究の課題となるように設定していきます。
- 目標・授業像の共有**
「課題の焦点化」の作業を通じて、研究目標、授業像を共有し、また、改善目標を日々の授業に「実践」し、学校全体で取り組むことになり、改善目標の達成に向けた取り組みをすすめていきます。
- 研究計画の検討** (主題・役割・組織・評価計画)
研究目標や改善目標の達成に向けて、教職員間で目標達成に向けた取り組みの検討を行い、改善目標の達成に向けた取り組みの検討を行い、改善目標の達成に向けた取り組みの検討を行います。

毎日の授業研究に取り組んでほしいのですが、先生と事務職員の間ではどういった関係になりますか？

改善目標の達成に向けた取り組みの検討を行い、改善目標の達成に向けた取り組みの検討を行います。

特別支援学級における授業づくり

特別支援学級における授業づくり
今持っている力を最大限に発揮して
自ら伸びようとする子どもの育成のために

もくじ

- 特別支援学級で学ぶことの意味は、どのようなことでしょうか？・・・P.1
- 特別支援学級担任は、授業づくりでどのようなことに思っているのでしょうか？・・・P.2
- 特別支援学級に求められる授業とは、どのような授業なのでしょうか？・・・P.3
- よりよい授業づくりのために、どのように子どもの実態把握をすればよいのでしょうか？・・・P.5
- 子どもが身に付けなければならない力を確実に身に付け、主体的に学ぶ授業とはどのような授業なのでしょうか？
- 実践例Ⅰ 国語 小学校知的障がい学級・・・P.6
- 実践例Ⅱ 算数 小学校知的障がい学級・・・P.8
- 実践例Ⅲ 算数 小学校知的障がい学級・・・P.10
- 実践例Ⅳ 学級活動(2) 中学校知的障がい学級・・・P.12
- 交流及び共同学習のねらいとポイントは、どのようなことでしょうか？・・・P.14
- 特別支援学級の授業づくりを推進する校内外の連携として、どのようなことが必要なのでしょうか？・・・P.15
- 授業づくりで困った時は、どこに、どのように相談すればよいのでしょうか？・・・P.16
- 特別支援学級担任の先生へのメッセージ・・・P.17
- 引用・参考文献

リーフレット

特別支援学級における授業づくり
今持っている力を最大限に発揮して
自ら伸びようとする子どもの育成のために

特別支援学級における授業づくりリーフレット(前半)
http://www.pref.tottori.lg.jp/seibu/965651/gk-leaf-hr.pdf

特別支援学級における授業づくりリーフレット(後半)
http://www.pref.tottori.lg.jp/seibu/965651/gk-leaf-hr.pdf

新着情報

- 西部教育局からのお役立ち情報【2月号】
- 西部教育局からのお役立ち情報【1号】

教師として大切にしたいこと

「見る 聞く 認める」を大切にしたいこと
子どもをつなぐ、子どもをつなぐ「見る 聞く 認める」

「見る 聞く 認める」を大切にしたいこと
子どもをつなぐ、子どもをつなぐ「見る 聞く 認める」

「見る」
〇見ることは、子どもが安心感と自信、力を高める第一歩
一人一人を見る
子どもを「見る」

「聞く」
〇認めることは、子どもとの関係性を築く第一歩
子どもが話している姿を聞き出す
子どもを「認める」

「認める」
〇認めることは、子どもの意欲を育てる第一歩
子どもが話している姿を聞き出す
子どもを「認める」

若手教師のための学級づくり
〇「見る 聞く 認める」を大切にしたいこと
〇ここまで読んでおきたい4月の学級づくり

お役立ち情報(きらりと光る西部の宝もの)

新着情報には、当該年度に作成したお役立ち情報を、月ごとに公開しています。(PDF) バックナンバー(平成26年度～)については、【西部教育局の取り組み】からご覧ください。

西部教育局からのお役立ち情報
今月のトピック紹介 3月号

児童生徒に確かな学力向上を実現する、校内研究実践例！！

校内研究に対する意識は年々高まり、本年度も学力向上の中心に位置づけた取組が各校で進められました。学校訪問では、個別の先生による発信のみならず、学校全体で推進の取組方針を統一して授業改善につなげる等々、チーム学校としての取組が着実に進められた学校も多く見られました。本号では、各校の取組を振り返り、今後の取組のポイントを示しています。次年度の研究推進体制づくりにお役立ちください。

特別の教科 道徳(道徳科)の充実を図る！！
～全面実施に向けた準備～

小学校は平成29年度が移行期間の最終年度、中学校は残り2年間となり道徳科の全面実施が目前に迫っています。スケジュールから見ると各種計画の見直し、教材の選定等についての情報をまとめているので、道徳教育推進部を中心とした各学校における体制整備にお役立ちください。

「魅力ある学校づくり」で攻めの生徒指導を！！
～4月・魅力ある学校開き&魅力ある授業開きのポイント～

未然防止の取組を進め、子供にとって学校を魅力ある場所とすることが困難な状況に陥らないようにする必要があります。本号では、新年度の学校開きを授業開きを取り上げ、全ての子どもが意欲的に取り組める体制づくりや連携づくりについて考えています。新年度に向けた共通理解の場でご活用ください。

児童生徒に確かな学力向上を実現する、校内研究実践例！！

今年度の成果と今後大切にしたいポイント

1. 校内研究の実践例(1) 学力向上の取組

2. 校内研究の実践例(2) 学力向上の取組

3. 校内研究の実践例(3) 学力向上の取組

4. 校内研究の実践例(4) 学力向上の取組

5. 校内研究の実践例(5) 学力向上の取組

6. 校内研究の実践例(6) 学力向上の取組

7. 校内研究の実践例(7) 学力向上の取組

8. 校内研究の実践例(8) 学力向上の取組

9. 校内研究の実践例(9) 学力向上の取組

10. 校内研究の実践例(10) 学力向上の取組

お役立ち情報及び各リーフレットは、すべてPDFで公開しています！必要に応じてダウンロードや印刷をしてください。

鳥取県のホームページ内に西部教育局のページが作られています。

